

[豊かな田園]



新しい時代の田園生活の提案プロジェクト

1. 三春の里整備構想・さくら湖周辺地域計画

平成10年に完成した三春ダム「さくら湖」を含む周辺地域において、自然環境を保全するとともに、自然と共生する「田園生活の魅力の多様性を享受」できる地域空間を創出します。

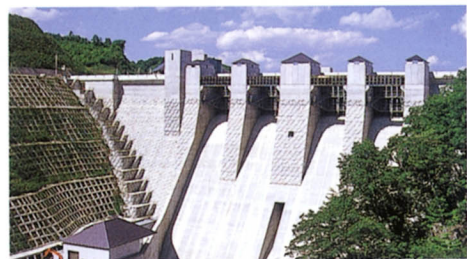


- さくら湖周辺の環境保全と景観形成
- さくら湖自然観察園の整備
- 野外活動施設の整備
- さくら湖周遊路の整備
- 田園集落づくり

を柱に、21世紀の新しい空間と時間を豊かに過ごせるまちづくりをめざしています。

2. 「地域に開かれたダム」事業

三春ダムは、都市に近い里ダムという特長から「地域に開かれたダム」の指定を受けており、水と緑のオープンスペースとして、広域的な地域活性化の役割を期待されています。



3. 新しい農業の展開

地域資源である豊かな農地を育む、意欲ある農家を地域ぐるみで育て支援する認定農業者制度や、農業経営形態への取り組みなど新しい時代に向けての新たな展開がみられます。また、地域農家と民間企業の結びつきにより開園した三春ファームハーブガーデンも、農業生産法人による新しい農業形態として地域の活性化が期待されています。



4. 三春の里農業公園・田園生活館2期計画

田園生活の魅力積極的に追求し、都市生活者には田園への憧れを、農村生活者には生活の創造をと、三春の里農業公園はつくられました。都市との交流によって、田園文化の向上を図り、本当の豊かさを見直しています。



Nature

[楽しいまち]



市街地における生活提案プロジェクト

1. 三春町市街地整備基本計画

町では、中心市街地の活性化を進めるために平成11年3月「三春町中心市街地活性化基本計画」を策定しています。これまでの「三春町市街地整備基本計画」(平成元年)を踏まえながら、市街地の整備改善や商業振興を図っていきます。



- 中心性を高める2核1軸のまちづくり
- 歩いて楽しい道、車に便利な道づくり
- 賑わいや交流、自然とのふれあいを生み出す広場・公園・緑地づくり
- 四季を感じる花や緑の風景づくり
- 風致地区と調和させた歴史と伝統のある美しい街並みづくり
- 楽しいお店がたくさんあるまちづくり
- 町屋の味わいを活かした住まいづくり
- みんなの熱意で創り出すいきいきとしたマチの8つを柱に、三春がもつ自然・歴史・文化を活かしながら、生活交流拠点の場として、中心市街地の再生に取り組んでいます。

2. うるおい・緑・景観まちづくり整備計画

三春町は、「うるおい・緑・景観モデル都市」です。都市の美しさや楽しさ、そして快適な機能や構造を整備するために、公園整備や住宅地の街並景観形成、「美しいまちをつくる三春町景観条例」の運用、街路や文化福祉施設、商店街再編



・集積、下水道、都市河川改修など、魅力ある地域小都市づくりを実現します。

3. 荒町新町線街路事業

三春町都市計画道路「荒町-新町線」は、町の中心市街地を東西に縦断する主要幹線です。交通機能としてだけでなく、沿線には公共施設をはじめとする施設を集積した公共空間として、街路整備を進めています。



4. 快適照明まちづくり計画

「あかり」ということばで表される心休まる雰囲気、やすらぎ、ぬくもり、やさしさを感じられる三春らしい景観照明の整備を進めていきます。夕暮れ後も、引き続き、人々が歩いて楽しめる、賑わいのある町をめざしています。



5. 街なみ環境整備事業(裏道整備)

市街地において、三春町固有の空間を創出している裏道、参道、路地の修景整備を行い、表通りとの連続性、回遊性を確保し、歩行者空間としてのネットワークの形成を図ります。蔵や古い様式を残す建築物などの城下町としての歴史と伝統を活かした空間、楽しく歩ける街なみをつくります。



6. 公共施設集積整備計画

しっかりとした都市基盤をつくと同時に、便利で快適な都市機能、サービス機能を充実させていく核として、公共施設やサービス施設の集積と整備を進めています。

7. 桜川改修事業

市街地を東から西へ流下する一級河川桜川は、たびたび浸水被害を起こし、その対策が課題となっています。改修にあたっては、浸水地区の解消に加えて、歴史と自然が身近に感じられる親水豊かな憩いの空間としての桜川周辺を再生します。



8. 商業集積整備事業

「まちの顔」である中心市街地の整備とあわせて、商業の集積整備事業を推進しています。町民や来訪者が楽しく、快適に買い物ができるよう核店舗整備、店舗の集約整備などの商業核の整備も行います。